

妙心塔頭

海福院

名画猿廻シ図

むかし妙心寺の法堂の蟠龍を狩野探幽書くれし時、此海福院に滞留せられ、折節住持の長老留守の時、探幽酒を多く酌んで戯れに新しき唐紙を張し、襖のうへともいはず唐の猿まはしの図を書れし也。住僧帰りてこれを見とがめ、探幽に折檻を加ふ。探幽詞なくして謬り居られける。後世此筆威妙也とて、これを賞して画工猿廻しの規範となす。